

平成 30 年 6 月 25 日



各 位

株 式 会 社 F R O N T E O  
代 表 取 締 役 社 長 守 本 正 宏  
(コード番号：2158 東証マザーズ)  
(NASDAQ ティッカーシンボル：FTEO)  
問 合 せ 先 執 行 役 員 管 理 本 部 長 上 杉 知 弘  
電 話 番 号 0 3 - 5 4 6 3 - 6 3 4 4

(訂正・数値データ訂正)「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」および「平成30年3月期通期予想値と実績値との差異に関するお知らせ」の一部訂正について

平成30年5月15日に公表いたしました「平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)」および「平成30年3月期通期予想値と実績値との差異、営業外費用(為替差損)の計上および繰延税金資産と繰延税金負債の取崩しに関するお知らせ」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データ(XBRL)にも訂正がありましたので、訂正後の数値データにつきましても送信いたします。

## 記

### 1. 訂正の経緯

平成30年6月15日に公表いたしました「第15回定時株主総会開催日の変更および第15回定時株主総会の継続会の開催に関するお知らせ」に記載のとおり、当社米国子会社において、会計監査の対応に想定以上の時間を要していました。当社米国子会社における監査遅延の原因につきましては、当社米国子会社において不正な会計処理を行っている等の疑義が生じたことによるものではなく、当社米国子会社において前年度より継続する財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に起因する試査範囲の拡大等によるものでした。

当社、当社米国子会社、会計監査人一丸となって最善の努力を続け、当該監査が進み終盤を迎えることができました。これに伴い、決算短信発表後に、米国子会社の一部の売上高に関する計上時期および計上額の判断について、会計監査人より指摘を受け、当社において慎重に検討した結果、当該指摘に従い財務諸表を訂正することが妥当と判断いたしました。

## 2. 訂正の内容

今回の訂正は、主として、平成30年3月期における当社米国子会社の売上高の訂正となります。

会計監査人からは、平成30年3月期に売上が計上されたものの一部について、契約書やその他売上計上の根拠となる証憑の不備に起因し、売上高の計上時期及び売上高の計上額について指摘を受けました。契約書等の根拠証憑が不十分であったために取り消した売上の一部は、平成31年3月期以降に証憑が揃った時点で売上計上される見込みです。

なお、平成30年3月期後半に開始した改善活動により、新たに締結した契約書については、既に改善を図っております。

今回の訂正が当社経営実態に影響を与えるものではないと考えており、平成31年3月期連結業績予想の変更は行っておりません。

## 3. 訂正後の状況

当社米国子会社の、改善すべき財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備の内容、及び原因は、今回の監査を通じ、明確に特定でき、既に改善計画を策定いたしました。今後は、当該改善計画に基づき、システムの改善、業務フローの再構築等に徹底して取組み、更に、本社からCEO、CFOを引続き派遣することにより、経営管理を一層強化し、不備の改善に取り組んでまいります。

#### 4. 訂正箇所および訂正内容

##### (1) 平成30年3月期決算短信〔日本基準〕(連結)

現時点で開示させて頂く訂正内容は以下のとおりであります。その他の内容に関する訂正につきましては、訂正内容が確定次第、別途開示いたします。

(訂正前)

##### 1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

###### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	12,332	10.0	231	—	37	—	△725	—
29年3月期	11,207	6.2	△1,206	—	△1,254	—	△948	—

	1株当たり 当期純利益
	円 銭
30年3月期	△19.08
29年3月期	△26.07

(訂正後)

##### 1. 平成30年3月期の連結業績(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

###### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期	12,217	9.0	177	—	△16	—	△828	—
29年3月期	11,207	6.2	△1,206	—	△1,254	—	△948	—

	1株当たり 当期純利益
	円 銭
30年3月期	△21.79
29年3月期	△26.07

(2) 平成30年3月期通期予想値と実績値との差異、営業外費用（為替差損）の計上および繰延税金資産と繰延税金負債の取崩しに関するお知らせ

(訂正前)

1. 平成30年3月期通期連結業績予想と実績の差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,600	200	100	△895	△23.55
実績値 (B)	12,332	231	37	△725	△19.08
増減額(B-A)	△268	31	△63	170	—
増減率 (%)	△2.1	15.5	△63.0	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	11,207	△1,206	△1,254	△948	△26.07

(訂正後)

1. 平成30年3月期通期連結業績予想と実績の差異（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純損失 (△)	1株当たり 当期純損失 (△)
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,600	200	100	△895	△23.55
実績値 (B)	12,217	177	△16	△828	△21.79
増減額(B-A)	△383	△23	△116	67	—
増減率 (%)	△3.0	△11.5	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成29年3月期)	11,207	△1,206	△1,254	△948	△26.07

以上